

# ウメ「白加賀」の陥没症対策

園芸部 果樹係 森田碧

## 1 成果の概要

ウメ「白加賀」の陥没症は、胚固化完了直後には収穫しないこと、30℃を超える高温時の午後には収穫しないこと、50年生以上の老木は植え替えることで発生を軽減できる。

## 2 背景、目的

群馬県主要品種の「白加賀」では、陥没症が発生することがあり、現地で問題となっている。陥没症は、重度のときは樹体上でも発生するが、通常収穫時には外観上症状は見られない。このため、選果時に陥没した果実を取り除いても箱詰め後に発生することがあり、市場からのクレームの対象となる。そこで、高品質な「白加賀」の果実を出荷するため、陥没症の発生要因と発生軽減対策について検討した。

## 3 成果

- (1) 早期収穫（胚固化完了直後）した果実は、適期収穫（核色3程度）した果実より、発生率が高い（表1）。
- (2) 30℃を超える高温日の16時に収穫した果実は、6時、11時に収穫した果実より、発生率が高い（表1）。
- (3) 樹齢が50年生以上の樹の果実は、樹齢が10～30年生の果実より、発生率が高い（表2）。
- (4) これらのことから、胚固化完了直後の早期収穫や高温時の午後には収穫しないように注意し、老木は植え替えることで陥没症の発生を軽減できることが明らかとなった。

表1 ウメ「白加賀」の収穫時期と収穫時間の違いによる陥没症発生率

収穫時期	収穫時間	発生率(%)	障害程度	果実表面温度(℃)	気温(℃)
早期収穫	6時	6.2	1.6	14.7	15.7
	11時	8.0	2.4	31.6	31.3
	16時	44.7	16.8	31.3	31.2
適期収穫	6時	0.0	0.0	21.7	20.0
	11時	0.0	0.0	39.2	29.5
	16時	2.7	0.7	35.0	30.9

注1) 早期収穫区は平成28年5月23日（胚固化完了直後）に収穫

注2) 適期収穫区は平成28年6月10日（核色3程度）に収穫

注3) 調査場所：伊勢崎市 樹齢：28年生

注4) 発生率は収穫24時間後に調査した。

表2 ウメ「白加賀」の樹齢の違いによる陥没症発生率

樹齢	発生率	
	集荷日	集荷から24時間後
若木～30年生	8.0	13.6
10～30年生	3.7	9.6
50～60年生	22.2	44.4

注) 平成30年6月8日にJAはぐくみの集荷場から採取した果実を調査に用いた。

## 4 成果の普及、活用方法

ぐんま農業新技術にまとめ、生産現場に情報提供を行った。